

ふれあい 第23号

平成20年度の公民館事業

町公民館の主な事業一覧

募集要項など詳しくは、「広報のぎ」でお知らせします。
(ここに掲載されているものは予定ですので変更される場合もあります。)
問い合わせ先 57-4188

事業名	期間(期日)	募集予定	備考
地域学習会	6月～7月	30名	佐川野分館 5回目
文化協会専門部 初心者対象講座	6月～2月		文化協会主催 5講座
夏休み工作教室	7月～8月	20名	
夏休み子ども電気教室	8月8日(金)	30名	小学3～6年生対象 1回
親子セミナー	8月	15組(30名)	4回
シニアセミナー	9月～10月	30名	5回
町民大学	10月～12月	30名	5回
いきいきセカンドライフ	9月～12月	30名	5回
公民館まつり	2月		
趣味の講座			2講座程度

分館の主な事業一覧

詳しくは班回覧等でお知らせします。
(ここに掲載されているものは予定ですので変更される場合もあります。)

月	友沼分館	野木分館	南赤塚分館	佐川野分館	新橋分館
4	総会	文化振興熊野神社祭典模擬店 総会	総会	観桜会	総会 菊づくり講座 いきいきライフ
5		「栃木県民の日」 野木小学校演劇鑑賞会 谷中湖ウォーキングアンドバーベキュー	ゲートボール大会 春季敬老会		菊づくり講座 いきいきライフ ソフトボール大会
6	健康ウォーキング 老人スポーツ大会	野木小学校運動会「敬老者招待」 わいわいがやがや文化研修 敬老者の集い	第12回ウォーキング大会		お楽しみ会 菊づくり講座 いきいきライフ
7		世界遺産候補 「富岡製糸工場を訪ねて」	体育祭 (ボウリング大会)		菊づくり講座 いきいきライフ
8		育成会 「おおみや鉄道博物館」1日バス旅行	グラウンドゴルフ大会 視察研修	佐川野分館研修	菊づくり講座 いきいきライフ
9	友沼小・コミュニティ 大運動会	行政視察議会傍聴 第5回「ふれあいフェスティバル」	秋季敬老会	佐川のつ子 ふれあい大運動会	ふれあい運動会 菊づくり講座 いきいきライフ
10	研修会	ふれあい広場全員集合	女性部研修会	佐川野分館球技大会 佐川野分館 ウォーキング大会	ウォーキング大会 菊づくり講座 食育講座 グラウンドゴルフ大会
11	七歳合同祝 健康ウォーキング	七歳合同祝	第3回ウォーキング大会 女性部視察研修 七歳合同祝 ミニソフトバレーボール大会	地域学習会(5回) 七歳合同祝	七歳合同祝 いきいきライフ 文化祭菊展示会
12		そば打ち講習会 蕎麦つくり・フラワーアレンジメント			いきいきライフ 折り紙講座
1					どんど焼き いきいきライフ
2	高齢者学級		講習会 南赤塚小学校1年生 昔のあそび指導		いきいきライフ
3		議会傍聴 総会 お花見ウォーキング			いきいきライフ

新分館長から一言

新橋 小杉 史郎



このたびの新橋学区分館定期総会で分館長を仰せつかり、責任の重大さを痛感しております。就任にあたり、当分館を代表して一言おあいさつ申し上げます。

私は、分館活動の基本を「コンパクトな運営」とし、明るく、楽しく、分りやすくをモットーに「ボランティアの精神」で行ってまいります。地域の皆様とのコミュニケーションを図りつつ、一人でも多くの方が分館の事業に参加できるようにお手伝いするのが使命と心得ます。

分館活動が地域のコミュニケーションの輪を広げる一助となるよう役員一同積極的に取り組んでまいりますので、皆様方のご支援、ご

協力のほどよろしくお願い申し上げます。

南赤塚 針谷 良七



昭和33年に南赤塚学区分館発足以来50年、農村及び、都会が混在している分館です。新橋小学校開校により新橋学区分館が発足、地域が4地区(中谷・南赤塚・丸林東・新橋東)となり現在に至っております。

高齢化が進み、学区内約二千四百戸に70歳以上の人口が九百五十名を超える状態です。私も来年初希を迎えるにあたり、行事を計画する際、全世代で楽しめるものを実施したいと考えております。20年度は、ゲートボール・ウォーキング(年間2回実施)・ボウリング・グラウンドゴルフ(ナイター)・ミニソフトバレー・講演会・南赤塚小学校におい

野木 川島 一雄



て昔の遊び指導など計画しています。普段ふれあいの少ない皆さんの参加により、地域のコミュニケーションづくりを図り、皆様の参加でよりよい分館を目指したいと思います。

野木学区分館は、休止期間後再立ち上げし5年目を迎えました。

地域の皆様のご理解、ご協力と役員のご努力を頂き活動も定着しつつあり感謝致します。企画内容も、子供の学区全体での夏休みバス旅行、敬老者向けの感謝の集いと幅広く活動が広がりました。また、地域の伝統文化を守る「ささら祭り」へも模擬店等を出して分館活動として取り入れ、祭りの盛上げに協力させ

て頂き喜ばれています。今後は地元で「新しくなった野木小・シモレン・谷中湖・水辺の楽校」等を活用し楽しい企画が出来ると思います。また、分館活動は公平に、年代のバランスよく、マンネリにならず参加しても楽しい、次も参加したいと思っております。2年間分館長という大役をさせて頂きませんが、地域の皆様の声を反映し文化の向上、ふれあいの場づくり、楽しく住みやすい地域へ貢献できればと思います。

パソコン・サロン開催中

ボランティアによる初心者を対象としたパソコン相談室を開催しています。

毎月 第2木曜日 13:00～16:00

第3土曜日 9:30～11:30

町公民館 2階 第4研修室

入退室自由で、事前の申込の必要はありません。

分館から

野木 野渡ささら 獅子舞まつり



野渡のささら獅子舞祭りは、およそ五百年前古河公方足利氏の時代に、悪疫退散と五穀豊穡を祈って始められたとも言われている伝統ある祭りです。昭和30年代までは参道に出店が並び大変な賑わいでした。獅子舞は8人の子供達で構成されていますが、最近では少子化の影響で子供達が集まりません。誠に残念です。

そんな折、分館として祭りを盛り上げるお手伝いは出来ない

佐川野 観桜会



ものかと思ひ、役員で協議しました。子供達に喜ばれる模擬店を出そうということになり、「ポツポツン、綿あめ、ところてん」の模擬店を出しました。分館役員やボランティアの皆様の協力により、楽しく祭りに参加することが出来ました。祭りに見に来た人も例年より多くの人が集まり、大変好評でした。今後とも地域が一つになり、心を合わせ楽しい分館活動にしたいと思います。

頂き、乾杯のあと、弁当、茶菓子、ビール、ジュースなどで会食し、カラオケを約2時間行い、皆さんの談笑が主な会でしたが、午後からは快晴になり、怪我もなく、元気に帰られました。一日御苦労様でした。

サークル紹介

野木パソコンクラブ

栃木県シルバード大学OBが中心となり「楽しく学ぼう、身につけよう」を合言葉に、中高年者のパソコンクラブが発足し、4年目を迎えます。多くの会員より、基本技術が身につく、パソコンを楽しんでいるとの感想を頂いています。この度町内在住の中高年者でパソコンを学ぼうとする仲間を募集します。(30名)パソコン初心者の方、大歓迎です。

場所 町公民館
活動日 毎月各クラス2回
(第1・3水・木曜日)
9時30分～12時 or
13時～15時30分
会費 月2500円(資料代込)
申込み 6月1日、先着順
申込み・問合せ先 濱田敏路(56-10382)

事務局 コーナー

平成20年度から、公民館は月曜日も利用できるようにになりました。(第3月曜日を除く)
ただし、月曜日の利用時間は午前8時30分から午後5時までとなります。また年末年始は今まで通り休館します。

平成20年度館報編集委員

- 伊藤 エリ子 (友沼)
- 大草 久美子 (友沼)
- 島田 弓子 (野木)
- 知久 ユキ (野木)
- 宮本 恭子 (南赤塚)
- 川元 由美子 (南赤塚)
- 三橋 桂子 (佐川野)
- 館野 純子 (佐川野)
- 館野 恒夫 (新橋)
- 新村 信治 (新橋)

平成20年度事務局新体制

- 公民館長 館野 郁夫
- 友沼分館担当 鈴木 一範
- 野木分館担当 館野 親智
- 佐川野分館担当 眞瀬 貴宏
- 南赤塚分館担当 眞瀬 貴宏
- 新橋分館担当 柿沼 和彦

歴史の散歩道

第7回 清六 遺跡 【中世】

「歴史の散歩道」と題しまして『野木町の歴史紹介』をこのページで特集してきましたが、今回で最終回です。どうでしたか?楽しく学べましたか?なお、この記事は、野木町郷土史研究会のご協力をえて、寄稿していただきました。

清六 遺跡の中世遺構としては、堀跡三基、掘立柱建物跡二十四棟、井戸跡八基、溝跡十二条、地下室抗跡十九基、土抗跡五百十一基が確認されています。これら中世の遺構は三条の溝によって四つの区域に区切られているので、中世遺構配置図に基づいて説明します。

掘立柱建物は二間×三間程の小型な建物と二間×六間程の大型な建物があり、小型の建物は東側(一、二区)大型の建物は西側(三、四区)に位置しています。思川沿いの北部には一番大きな建物跡があり、その周囲には遺構が極めて少ないことから、この建物はこの集落の長の館であったと考えられます。

井戸は、各区域ごとにバランスよく配置されていて、計画性が感じられます。これらの井戸からは、写真のように、板碑・五輪塔の水輪・石臼・漆塗りのお椀・杵・織機・下駄などが大量に出土しています。住民が先祖を供養した板碑や日用品を井戸に捨てることがあり得ないので、戦いがあり、占領軍が捨てたのだと思われるかもしれません。

なお東地区と西地区では、出土品に明らかな違いがあり、地域性があるようです。地下式抗跡は二区に集中していて大きさは、全長が約3m～5mほどで土の分析結果から遺体

ここにはいつ頃まで人が住んでいたのでしょうか?板碑は打撃により破壊されてしまいましたが、板碑の年号は延文六年(一三六〇)から永正九年(一五二二)までのものが確認されています。また古河公方「足利政氏」が小山成長に対し、瀬六郷の支配を認めたと古文書も残っています。したがってこの集落は室町幕府の中期頃まで栄えていたと考えられます。

(軽部重夫 記)



井戸に捨てられた板碑・石臼・五輪塔水輪



清六 遺跡 中世遺構配置図

